

『令和3年度 全国学力・学習状況調査 結果・分析』

江戸川区立一之江第二小学校

調査日 令和3年5月27日（木）

対象学年 第6学年実施人数：138名

【結果】

《結果》平均正答率	国語	算数
本校	68%	74%
江戸川区	64%	70%
東京都	68%	74%
全国	64.7%	70.2%

【教科ごとの分析】

国語

	全体	話す・聞く	書く	読む
本校	68%	82.5%	59.9%	51.3%
江戸川区	64%	77.8%	55.7%	48.3%
東京都	68%	81.8%	62.7%	53.5%
全国	64.7%	77.8%	60.7%	47.2%

- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」、「話す・聞く」は、全国、東京都を上回った。
- 「書く」については、全国、東京都いずれも若干下回った。
- 「読む」については、全国は上回ったが、東京都は下回った。

- ・物語文や説明文では、作品や文章全体を丸ごと捉えた読みから、細部を捉えていくといった三段階読みを実践していく。
- ・文章を読み取る際には、物語文ならば、設定や場面の転換点、人物の相関、説明文ならば、問いと答え、要旨（筆者の主張）など、視点を明確にし、適切な読みを促す指導をしていく。
- ・朝読書の他、読書科の時間を有効に使い、じっくりと活字に親しめる時間を確保する。
- ・『自分の考えをまとめて書く力』『自分の考えの根拠を明確にしてまとめて書く力』という2点を重点的に指導していく。

算数

	全体	数と計算	図形	測定	変化と関係	データの活用
本校	74%	67.2%	62%	78.3%	77.6%	81.6%
江戸川区	70%	61.7%	57.1%	74.7%	76.1%	76.4%
東京都	74%	65.4%	63.7%	77.7%	79.8%	79.5%
全国	70.2%	63.1%	57.9%	74.8%	75.9%	76%

- 全ての項目において全国平均を上回った。
- 図形と変化と関係のみ東京都の平均以下になっている。
- 数と計算と図形は7割を切っており、他と比べて点数が低い。

- ・毎週水曜日のパワーアップモーニングと每学期2週間取り組んでいる家庭学習週間では、東京ベーシックドリルを活用して既習事項の定着に取り組んだ結果、各項目において高い正答率を得ることができた。
- ・今後、算数において、図形と変化の領域を指導する際は、図形の名称や性質が理解できるような取り組みをしていく。基本図形の面積の求め方や量の基本的な性質について理解したり、図形を構成する要素などに着目して筋道を立てたりして考えさせていく。
- ・数と計算の領域では、速さ・道のり・時間との関係について考えたり、基準量を1としたときに幾つに当たるかという倍の意味について理解したりすることが大切であるので、その指導に努める。